「ながさき伐木チャンピオンシップ」で2年連続の全部門優勝

令和5年10月1日(日)、「2023 ながさき伐木チャンピオンシップ」(長崎県主催)が「諫早ゆうゆうランド干拓の里」で開催されました。

県内の各林業事業体の現場技術者がチェンソーを使った伐木等において林業労働安全技術の精度を競い合うことで、林業技術及び安全作業の意識の向上を図るとともに、林業のイメージアップにつなげることを目的とする競技会で、今年度で3回目の開催です。今回は11事業体から選抜された19名が参加しました。

当組合からは、**諫早支所の一ノ瀬実弦選手と田中康平選手、西海支所の久松鉄也選手と志田 潤選手**が出場し、日頃の技術を見せてくれました。

競技種目は伐倒競技と丸太合わせ輪切り競技で、個人賞は各部門別と2種目合計の得点、団体賞は選手2人の合計得点で競いました。

伐倒は、立っている6mの丸太を5分以内で、5m先の目印にできるだけ接近させるように 倒します。安全作業を意識しながら正確性が求められます。

丸太合わせ輪切りは、地面から7度に傾いた2本の丸太を垂直に上下から切り出し30~8 Omm厚さの輪切りにします。山の傾斜地では傾いた木を3~4mの長さに切るので、チェーンソーの角度を巧みに変えて切る技術が求められます。

さあ、今年は!

【個人賞】◎伐倒部門 ①田中康平 ◎丸太合わせ輪切り部門 ①一ノ瀬実弦

◎個人総合 ①一ノ瀬実弦 ③田中康平

【団体賞】①長崎南部森林組合諫早支所

という結果で、諫早支所の選手が賞を独占しました。一ノ瀬実弦選手、田中康平選手おめでと うございます!

昨年の第2回大会では、個人賞で奥村侑司(大村支所)さんが2部門優勝と総合優勝、団体 賞は奥村侑司さんと大曲秀明(本所)さんで優勝という結果を残しました。

当組合は、昨年に続き、2年連続で全部の賞をもらうという快挙を成し遂げました。

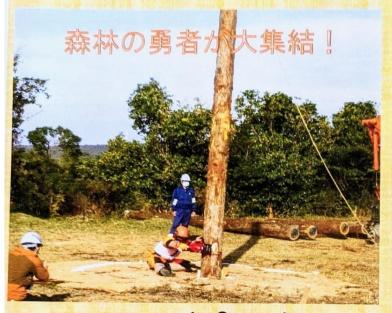
当大会は、「日本伐木チャンピオンシップ」、「世界伐木チャンピオンシップ」へとつながる競技会で、当日は全国大会のトップレベルの選手による、ソーチェーン着脱競技、接地丸太輪切り競技、枝払い競技のデモンストレーションがありました。くまもと Logging Club の後藤亮さんと高野毅さん、太良町森林組合の坂口学さん、一緒に活動している当組合の大村支所の奥村侑司さんと鮎川修さんのハイレベルなチェンソー技術が見られました。

10月28日に開催される「第3回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」の競技会には、鮎川修さんが出場予定ですので、好成績を期待しています。奥村さんは都合がつかず出場を見送りました。 "二人とも夢は大きく世界を目指せ"

今回の競技場所の「諫早ゆうゆうランド干拓の里」(諫早市公共施設)は、広い敷地に諫早干拓の歴史が学べる干拓資料館やコンサート広場、乗馬、ボート乗船、小動物園、ターザンロープ遊具などの施設があり、家族連れに人気のレジャー施設として知られています。

当日は、施設に入場された方々も競技の模様を見学されていました。来年以降の開催は、この施設で開催されるということであり、県央という立地とレジャー施設ですので、一般の見学者が増えてくることを期待しています。

2023 ながさき伐木チャンピオンシップ







日時:令和5年10月1日(日)午前9時30分~午後4時30分

雨天の場合: 10月15日(日) 午前9時30分~午後4時30分

場所:諫早ゆうゆうランド干拓の里(諫早市小野島町2232)

【スケジュール】

入園料無料!

9:30~15:10 ながさき伐木チャンピオンシップ

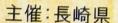
長崎県内各地からチェーンソーマンが集結! 伐倒競技、丸太合せ輪切り競技の2種目で技術を競います。

15:20~16:10 日本伐木チャンピオンシップ出場者による デモンストレーション

16:10~16:30 表彰式·閉会式

※進行によって時間は多少前後します

この競技会は、森林環境譲与税を活用し、林業労働安全技術の向上及び林業の魅力発信のために開催します 🌣



問合せ先 : (一社)長崎県林業協会

Tel: 0957-25-0184 FAX:0957-25-0193

Email: nagarinmori@go2.enjoy.ne.jp





優勝した一ノ瀬実弦選手(左)と田中康平選手(右)



選手の皆さん

4番 田中 康平 選手(諫早支所)





12番 久松 鉄也 選手(西海支所)





13番 志田 潤 選手(西海支所)





15番 一ノ瀬 実弦 選手(諫早支所)



デモンストレーション(枝払い競技) 高野 毅さん



奥村 侑司さん





